



公益財団法人
福岡県スポーツ協会
Fukuoka Sports Association

福岡県スポーツ協会レポート

令和4年1月18日 担当：福岡県スポーツ協会事業課

令和3年度 競技団体等ガバナンス強化事業研修会 1月14日（金）開催の標記研修会についてお知らせします。

今回3名の講師をお招きし、令和3年度 競技団体等ガバナンス強化事業研修会を開催した。県内各競技団体及び学校体育団体、各郡市体育・スポーツ協会から61名が参加した。なお、本協会として初めてハイブリット型対面とオンライン併用の研修会の開催となり、大変有意義であった。

第1部前半では、スポーツ庁 政策課専門官(法務支援スタッフ) 角藤 大樹 氏より、スポーツ団体のガバナンスと透明性をいかに高めるかについて、またガバナンスとは何なのか、ポイントを5つ(役割を果たす・目標を定める・研修をする・会計をしっかりとる・隠し事をしない)に分けて分かりやすく説明していただいた。



第1部後半では、独立行政法人日本スポーツ振興センター スポーツ・インテグリティ・ユニット 運営調整課 課長 板橋 千晴 氏・係員 小國 直敬 氏より、各団体の自己説明・公表をするにあたって、スポーツガバナンスウェブサイト(SGW)をどのように活用していけば良いのか説明していただいた。なお、福岡県内ではすでに10のスポーツ団体が活用している。



第2部では、本協会 事業課長 片山より、スポーツ団体ガバナンスコード(一般スポーツ団体向け)の自己説明に向けて演習を実施した。演習の内容は、各団体で準備した規程集・事業計画書を基に一般団体セルフチェックシートの原案を作成していただき、意見交換を行った。

今回の研修会を通して「スポーツ団体ガバナンスコードについて理解することができた」「自己説明に向けてスポーツガバナンスウェブサイトを是非活用したい」など参加者から声を聞くことができた。